

# 2020年度(令和2年度)図画工作科研究構想

福山市立野々浜小学校

**学校教育目標**よりよく生きようと学び合う子どもの育成  
**めざす子ども像**かしこく 自分で考え, 進んで学ぶ子  
 うつくしく 認め合い, 励まし合う子  
 たくましく 心身ともに健康で, 最後までやりぬく子

**研究主題**主体的に学び, 思考力・判断力・表現力を高める授業づくり  
 ～課題発見・解決学習における効果的な表現活動を通して～

**仮説**: 図画工作科の授業で目指す子どもの姿を具体的にイメージすることから具体的な手立てが生まれ, 創造的につくったり, 表したりすることができるだろう。

「研究の施策」

学習過程	学習形態	手立て
課題の設定	子ども達と考える	教材・学習材との出合わせ方の工夫
☆創造・表現		表現活動・言語活動の充実 発問の工夫 自らの表現を探求し続ける表現活動
振り返り	個別・ペア グループ	お互いの作品を見合わせ, 違いやおもしろさに気付く 作品の使用 → 実際に使ってみて

## (1) 単元・題材との出合わせ方の工夫

**課題発見・解決力(21世紀型スキル&倫理観)**

○子どもにとって魅力的な素材や場所, 用具の活用

**主体性・積極性(21世紀型スキル&倫理)**

・オープンスペースの利用

・材料バンクの設置

・野菜, 石, 木の実, 樹木, 花など身近な素材の利用

・場の設定

○子どもの気付きや発想を引き出したり広げたりする導入の工夫

・イメージマップづくり・・・題材の発想を確かなものにする。

・図鑑の活用

・設計図やアイデアスケッチを用いての交流・・・作品を具体化

○子どもたちから「問い」が生まれるような導入の工夫

・実物や体験からの導入

・子どもたちのつぶやきから「課題・めあて」

・解決意欲をもたせる工夫

## (2) 表現活動・言語活動の充実

**思考力・判断力・表現力(21世紀型スキル&倫理観)**

○思いや感動を伝え合う場の設定【ペア・グループ・全体など様々な形態で】

・学習の全過程を通じた積極的な話し合い活動

・制作途中の鑑賞できる場の工夫

・完成した作品の展示の工夫

○振り返りの工夫

・デジカメで制作過程を残す

・ワークシート

○ねらいに到達するために有効な言語活動の設定

・お互いの良いところを見つけ合う

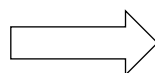
- ・自分の作品の工夫したところを紹介する

### (3) 発問の工夫 **思考力・判断力・表現力(21世紀型スキル&倫理観)**

- 題材を知る…「どのように」「どのような」「いつ」「どこで」「誰が」
- 表現の仕方が分かる…「さわった感じは?」「描いた感じは?」「気付いたことは?」
- 作品をつくる…「どうしたらよいか」「こんなやり方があるよ」「いろいろあるよ」  
「ともだちのよさをみてさらに工夫しよう」

### (4) 自らの表現を探求し続ける表現活動 **思考力・判断力・表現力(21世紀型スキル&倫理観)**

- 協同（協働）的な学習過程の組織
  - ・考えを出し合う⇒考えを広げる・深める。
  - ・考えを組み合わせる。



子供達が学習の過程を選択できるようにする。

- 成就感のある表現活動
- 絵画・・・パンフレット・ポスターなど（ヒント）  
新聞・英字など（材料）

→ **社会科との関連**・**統計グラフコンクールとの関連**・**社会見学**・**町探検**

**作品展への応募**・**学区文化祭への参加**

#### 2019年度

##### (1) 子どもたちから「問い」が生まれるような導入の工夫

成果…教師が事前の試作を行い、方法や作品例を導入で提示することで、子ども達の「やりたい」という思いを引き出すことができた。

課題…指導法や声掛けの仕方について、課題があると考えた教師が多くいた。

#### 2020年度

##### (1) 「学びに向かう力、人間性等」とはどんな姿か考えた授業づくり

授業の工夫から考えていくスタイルからの脱却。

どのような子供の姿が見えたらよいかをイメージして授業をすることで、具体的な手立てが考えられる。授業をする側も見る側も「なぜそのような姿になったのか」を分析する必要がある。

##### (2) 子どもの表現力を高める授業づくり

材料バンクを活用し、様々な素材に触れ、発想豊かに使えるようにする。

基礎的な表現技法を習得・活用できるようにする。

**図画工作科でつきたい力**・・・自らの表現を探求し続ける力